地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2019
12月
No.67

兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

[診療科紹介]
小児外科／心臓血管外科

●[AGMCニュース] One for all, All for one ～AGMC災害対応訓練～
●[AGMCニュース] 令和元年度 糖尿病教室（基礎編・応用編）を開催いたしました
●ぶらり～っと病院探訪　●セミナーのご案内　●患者さん・ご家族への病状説明等について
●病院敷地内及び敷地の周囲での禁煙の徹底について　●ご寄附のお願い

小児外科

高度な医療と傷の目立たない手術を目指す

15歳以下の外科的疾患の治療を行っています。内科に対して外科があるように、小児科に対して小児外科があります。ここでいう外科には、消化器外科、呼吸器外科、肛門科などが含まれます。また、小児の泌尿器科疾患、婦人科疾患、形成外科疾患なども治療の対象です。

小児外科 部長

岡本 晋弥

- 京都大学博士(医学)
- 日本外科学会指導医・専門医
- 日本小児外科学会指導医・専門医
- 小児がん認定外科医

小児外科 科長

片山 哲夫

- 京都大学博士(医学)
- 日本外科学会指導医・専門医
- 日本小児外科学会専門医
- 日本消化器外科学会認定医

提供する活動内容

小児外科領域疾患には、別表に示す疾患があり、これらが治療の対象です。また、虫垂炎、鼠径ヘルニアをはじめとして、噴門形成術(胃食道逆流症の手術)、横隔膜修復術、ヒルシュスプルング病根治術、胆嚢摘出術、脾臓摘出術、メッケル憩室の小腸切除術など、小児の色々な疾患に鏡視下手術を行なっています。さらに、虫垂炎手術の殆どを臍部創のみで行う単孔式で施行しています。

構成メンバー

■医師5名

後列左から:鹿子木、渡邉、江里口
前列左から:岡本、片山

カンファレンス風景

■2014年以降 年度別診療実績

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
全麻症例数	336	318	363	358	364
全麻下手術症例数	329	308	347	351	356
全麻下検査数	7	10	16	7	8
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術	111	106	111	95	117
腹腔鏡下虫垂切除	56	53	44	59	55
臍ヘルニア手術	16	25	19	26	16
停留精巣手術	22	27	23	14	15
気管切開術	6	5	6	12	9
新生児症例数	10	10	9	23	24
悪性固形腫瘍摘出術	3	2	2	1	2
ブロビアックカテーテル挿入	14	5	19	20	13
	211	211	190	194	203

■小児外科領域疾患

腹部・消化器疾患	鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、虫垂炎、肥厚性幽門狭窄症、腸重積症、胆道拡張症、ヒルシュスプルング病など
胸部疾患	肺分画症気管、気管支軟化症、先天性気管狭窄症、漏斗胸、縦隔腫瘍など
新生児疾患	食道閉鎖症、小腸閉鎖症、鎖肛、先天性横隔膜ヘルニアなど
外傷・異物	肝・膵・脾・腎損傷、消化管破裂、消化管異物、気道異物など
固形腫瘍	神経芽腫、肝芽腫、腎芽腫、横紋筋肉腫、奇形腫など
泌尿器科領域	停留精巣、陰嚢水腫、水腎症など
婦人科領域	卵巣腫瘍、陰唇癒合など
耳鼻科領域	正中頸嚢胞、側頸嚢胞、咽頭梨状窩瘻など

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

診察は地域連携室を通して診察予約いただければ、スムーズに診察が可能となります。夜間・休日も、小児外科医がオンコールしていますので、当直小児科医を通じて御紹介お願いします。

心臓血管外科

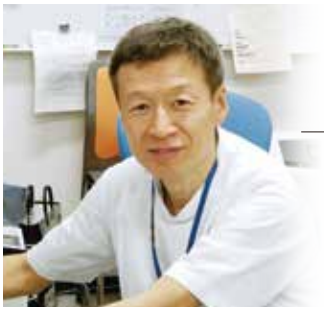
最先端の心臓血管外科治療を安心、丁寧、確実をモットーにすべての年齢の患者さんに提供します

外科と名のつくとおり、心臓や血管の病を手術で治療する診療科です。1968年の発足時から一つの診療科で新生児から超高齢者まで対応しています。後天性心疾患は大野暢久が先天性心疾患は長門久雄が責任医を担当し、その他5名のスタッフと2名の専攻医で24時間365日診療にあたっています。

心臓血管外科 部長

大野 暢久

- 京都大学博士(医学)
- 心臓血管外科修練指導医・専門医
- 日本外科学会指導医・専門医
- 日本胸部外科学会指導医



心臓血管外科 部長

長門 久雄

- 心臓血管外科専門医
- 日本外科学会専門医

構成メンバー

■2019年11月現在7名の常勤医師と2名の専攻医が在籍しています。そのうち心臓血管外科専門医は4名です。

後列左から:前田、植野、森、北田、佐藤
前列左から:岡田、長門、大野、吉澤

●植野医師(左)と佐藤医師(右)

人工心肺装置

提供する活動内容

●**先天性心疾患の外科治療**(長門、吉澤、森)
すべての年齢層に対して先天性心疾患の外科治療を行います。

●**後天性心疾患の外科治療**(大野、植野、佐藤)
狭心症/心筋梗塞に対する冠動脈バイパス術、弁膜症に対する弁形成術や弁置換術を行います。

●**低侵襲心臓血管外科手術**
早期社会復帰を目指して、小さな切開創で行う低侵襲手術(MICS)に積極的に対応しています。

●**大動脈疾患の外科治療**
真性胸部大動脈瘤及び解離性大動脈瘤が主な対象疾患で、緊急手術の割合が多い領域です。

●**末梢血管疾患及び腹部大動脈瘤**
腹部大動脈及び上下肢の血管に生じた動脈瘤や動脈硬化性の狭窄に対する外科治療を行います。

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

内科外科領域を問わず、循環器疾患に対する治療の選択肢は増えています。私たちはその方にとって何が最適な治療なのかを最優先に考えます。循環器系の病で悩まれていたら是非一度ご相談ください。

AGMC ニュース

One for all, All for one
～AGMC災害対応訓練～

令和元年11月16日（土）、尼崎市内に震度６強の強い揺れを伴う南海トラフ地震が発生したことを想定した災害訓練を、尼崎市と合同で行いました。

訓練は、多数の傷病者の受け入れを想定した救命救急部門を中心とする1階エリアと、災害時に病院全体の司令塔となる災害対策本部が設置される４階エリアを中心に行われました。

1階エリアでは、傷病者の容態によって治療の優先度を決定し選別（トリアージ）を行うとともに、容態ごとに区分したエリアへ患者を受け入れます。各エリアでは、設営・役割分担を速やかに行い、患者にあった的確な処置が求められます。リーダーの医師を先頭に、各職種が協力して傷病者の対応を行いました。

一方、４階エリアでは、院長を本部長として災害対策本部をすみやかに立ち上げ、院内の各部署から報告された被害状況の把握を行うとともに、一般外来の制限、重症患者受入れのための空床確保など災害拠点病院としての機能を最大限に発揮するための必要な指示を行う訓練を行いました。

現在、今回の訓練の評価・検証を行っています。実際に災害が起きたときに十分な機能を発揮し、一人でも多くの患者さんを受け入れできるよう、より一層体制の充実に努めることとしてます。

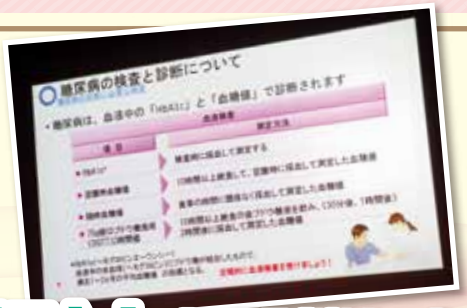
ぶらり～っと 病院探訪

内視鏡センター

1階の一番奥にある内視鏡センターを探訪してきました。

ここでは胃や大腸など消化器と肺の検査や治療を行っています。中には検査室以外にも回復室を設けており、鎮静剤を使用した患者様にも状態が回復してからお帰り頂けるようになっています。胃や腸の中を見やすくするために、前日から検査に向けて絶飲食や下剤の服用をして頂く必要があります。どの検査も医師と看護師が付き添っているので安心して検査を受けて頂けます。

令和元年度『糖尿病教室（基礎編・応用編）』を開催いたしました



AGMC ニュース

令和元年10月10日(木)当センター講堂において、
当院医師・薬剤師・管理栄養士・看護師による糖尿病教室を開催しました。

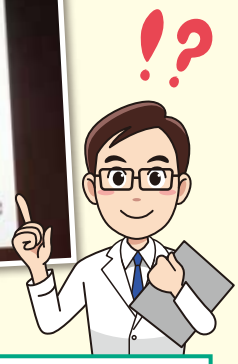
まず始めに、当院の糖尿病・内分泌内科医師より糖尿病の概要・検査基準・合併症について説明がありました。糖尿病はインスリン作用不足によって起こり、遺伝因子・環境因子が要因と考えられています。慢性的な高血糖状態が続くと合併症が発症し、日常生活の質の低下・最悪の場合命に関わることがあります。

次に、糖尿病治療の3本柱といわれる食事療法・運動療法・薬物療法について、管理栄養士・看護師・薬剤師により講義を行いました。

食事はちょうど良い量で、バランス良く、食べる順番に気をつけてとりましょう。日常生活に有酸素運動を取り入れ、肥満の防止と動脈硬化の予防が大切です。もし薬物治療が必要になった場合には薬の飲み忘れに気をつけ、飲み忘れた場合にもまとめて飲むことは控えましょう。

応用編では、当院医師よりフットケアについて講義を行いました。

糖尿病になると神経障害により足の防御力は低下し、循環障害や免疫機能の低下で感染が起こりやすくなります。日頃から自分の足に関心を持ちメンテナンスを行いましょう。気になることは当院フットケア外来(木曜午後のみ)へご相談ください。



最後に

糖尿病予備軍の方は通常の検診では異常が発見されないことがあります。定期的な検査を習慣づけ、生活の質を維持して楽しく過ごしていきましょう。

セミナーのご案内

第26回 生活習慣病セミナー

多くの方のご参加を！

テーマ 『サルコペニアフレイル』について
～栄養と運動に気をつけて老化を防ごう～

【講　師】県立尼崎総合医療センター
●整形外科 医師　和田山 文一郎
●管理栄養士　藤井 里香　●理学療法士　上田 大輔

【日　時】2020年1月15日(水曜日) 午後2時～4時(開場・受付開始1時30分)
【場　所】県立尼崎総合医療センター 講堂(1階)　**参加費:無料(予約不要)**
★お問い合わせ：外来Bブロック(糖尿病・内分泌内科) 看護部 ☎ 06-6480-7000(代表)

お知らせ掲示板

患者さん・ご家族への病状説明等について

日頃は、当院の診療にご協力いただき有難うございます。さて、医師の長時間労働に伴う健康被害が社会的問題として大きく取り上げられ、厚生労働省より、全ての医療機関に対して、「働き方改革」の趣旨に基づき、医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組みが求められています。

これを受け、当院の取組みとして、「患者さん、ご家族への病状説明等」を「平日の日勤時間内(9:00～18:00)」に実施させていただく方針としました。

病状の変化等により診療科から申し出る場合を除いて、患者さん、ご家族の都合による土曜、日曜、祝日、又は時間外の病状説明等のご依頼は、お断りする場合がございますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

病院敷地内及び敷地の周囲での禁煙の徹底について

このたび、県の受動喫煙の防止等に関する条例が改正され、令和元年7月1日より一部施行されました。当院においては、これまでより敷地内禁煙の遵守に取組んできましたが、禁煙の範囲を、敷地内に限らず、敷地の周囲にも拡大しております。また、紙巻式タバコ、加熱式タバコに加え、電子タバコについても禁煙の対象としており、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご寄附のお願い

当院は、地域の皆様とともに、より地域に開かれた病院づくりを進めていくため、寄付を受け入れておりますので、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

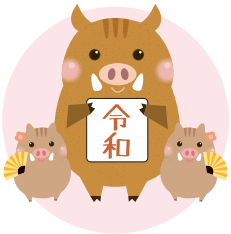
●**寄附の使途**　ご寄附の趣旨に沿って、当院の運営のための機器購入や臨床研究、スタッフ育成など、幅広く活用させていただきます。

●**寄附のお申し込み・お問合せ先**　兵庫県立尼崎総合医療センター　経営企画部経理課
〒660-8550 尼崎市東難波町2-17-77
TEL.06-6480-7000(代表)

編集後記

毎年楽しみにしている流行語大賞ノミネートが発表され、年の瀬を感じる今日この頃。今年は、『令和』という新しい元号と共に、新時代の幕開けにふさわしい素晴らしい出来事がみなさまの人生においてもたくさんあったのではないでしょうか。来年のあまが咲だよりも、ここかしこでのみなさまの活躍やがんばりを精力的にお伝えしていきたいと思っております。来年もよき年となりますよう、みなさまが心穏やかに新年を迎えられることを心よりお祈り申し上げます。

(E.O.)



兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000(病院代表)　FAX 06-6480-7001
URL : http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社